

3月10日(水)

Singapore General Hospital ~Anesthesia~

報告:林田 昌子

今日も引き続き OT 見学を中心に行いました。雨のため、タクシー(安い!)で SGH へ向かったところ、約束の時間より 20 分ほど早めに着いてしまいましたが、それを本日担当して下さる Dr. Lhen にやる気があると受け取って頂いたようで、とても親切に色々な説明や、麻酔手技の解説をして頂くことができました。

Spinal anesthesia の手技をただ見学するだけでなく、paramedian からの穿刺方法やその考え方、等比重マーカインと高比重マーカインの違い、等比重マーカインの使い方、利点などについての lecture もして頂き、とても勉強になりました。

Singapore で医師になる方法や、専門医修得の方法や年数などについてもとても丁寧に解説して下さいました。



1 件目の手術が clotting time > 20mins ということで延期になり、その空いた時間を利用して OT の stuff room(美味しい coffee machine が置いてある)や ER、Day Surgery Center、ICU、Cardiac ICU、Neuro ICU などの案内をして下さいました。骨格は 25 年前にデザインされた造りということですが、普段は普通に使用

〈上 : ICU の稼働率を表す表示〉している場所が、Air port やその他の場所で大災害やテロなどが起きた場合にはそれに対応して使えるような、フレキシブルで機能的な間取りになっていました。日本でも思考を重ねた上で病院を設計することが多いと思いますが、実際は使いこなせていないことが多々あると思うので(少なくともわが病院)、その機能性や先見性、未だに改良を加え増築中である発展性など、学ぶところが多いと感じました。Night duty room for ICU staff も見せていただきました(個室)。当直は月 5 回以下になっているそうです。

〈右 : Dr. Lim, Dr. Yen と ICU にて〉





〈左：OT や廊下にはいくつものドアがあり、災害時など特別な時には ER を中心とした別の動線が敷かれるという。〉

昼食は前日と同じ食堂で lunch をご馳走して頂き、その後私服に着替えて ICU meeting へ。ICU と NICU(=Neuro ICU)の症例が residents により提示され、Drs による discussion が熱く交わされました。

その後 9 階のラウンジや職員のための部屋、DUKE UNIV. の建物を案内して頂き解散。

夜 6 時にホテルのロビーに集合し、JUMBO という河川敷の Chinese restaurant へ。Cilli Crub を頂きながら、また Department の違う Drs と話す機会に恵まれました。SGH で働く女性 Dr の一人に Singapore での女性医師について質問したところ、Singapore の女性医師は男性医師と比較して結婚に不利な点はないし、産休は有給であり、総じて医師として働く上で女性であることが不利になることはないとおっしゃっていました。



〈左：麻酔中のひとコマ。日本と似た風景もあります。〉

〈右：JUMBO にて会食〉

